

「ヘルプカード」で優しい街づくり

I

① 勉強しなさい。という親と、「めんどうくさい。あとでやる。」という子どもたちで家でけんかが始まる。学校では、ときどきたたいたり、悪口言ったりけんかをやる。初めはじょうたんだったけど、相手にとってはいいやな気持ちなのだ。ほくも、そんな経験が何回もある。けんかしたあとは、必ずいやな気持ちになる。て、自分の心が意地馬になる。ていふことに気づくけど、自分からあやまりたくはない。

そこで、ほくは、みんなが相手を思いやるやさしい人にならうと思った。

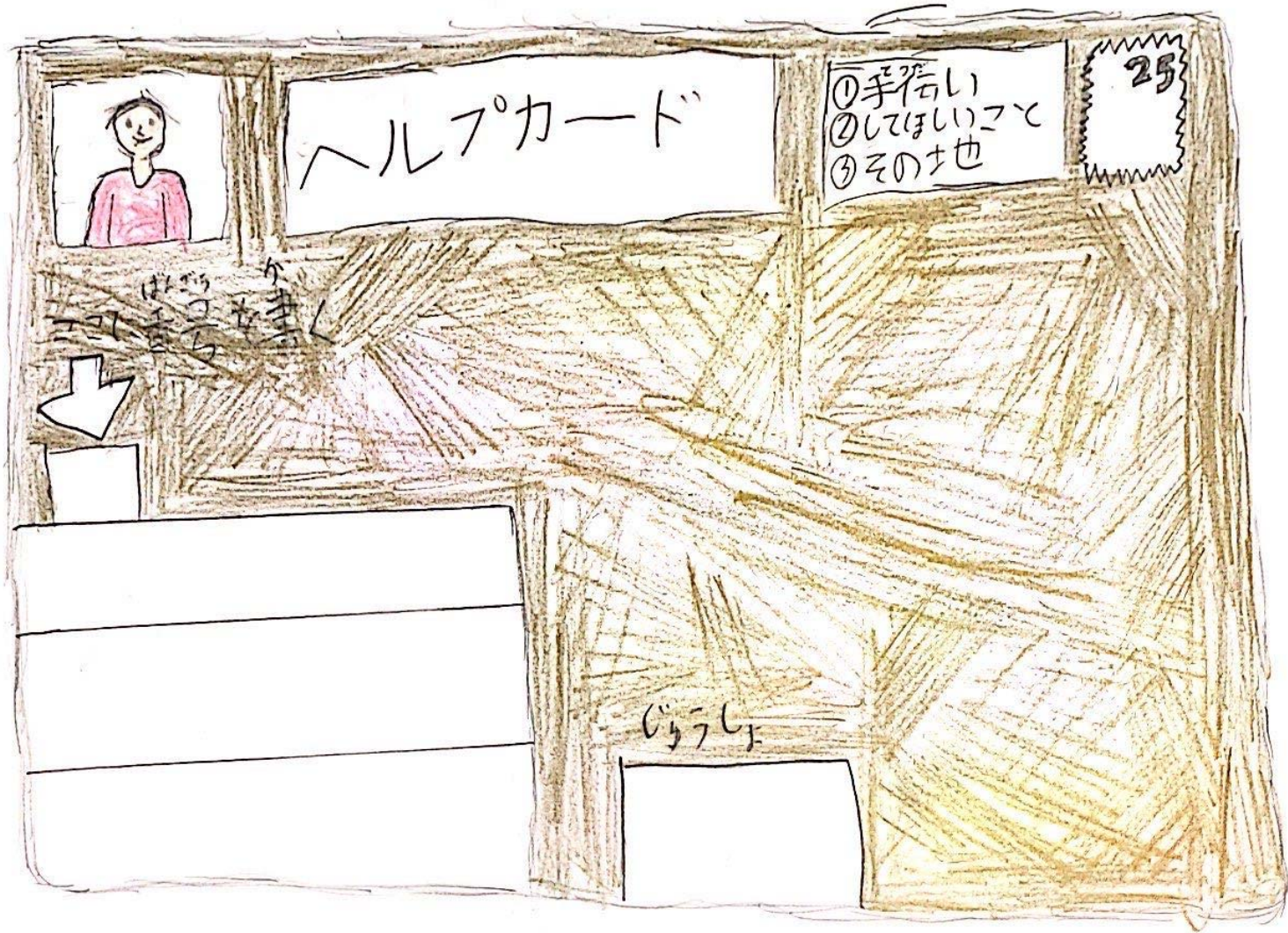
そのために考えたのは②「ヘルプカード」のあるやさしい街をつくることだ。「ヘルプカード」というのは、ほくたち子どもでもちえとした「お助けマン」になれる仕組みだ。たとえば、足が痛くて買い物に行けない人が、げんかんに「買い物行、てきてほしい」

と書かれた「ヘルプカード」の旗を出してお
 けば、近くを通る人が×モをもらいに行く
 仕組みだ。ぼくでも買い物はできる。「洗た
 く物たたみ」という「ヘルチカード」でも、
 ぼくの妹だってできる。気がついた人が、近
 くの困っている人の「お助けマン」になるの
 だ。お年よりの散歩の手伝いや、犬や猫のえ
 さやりなど、どんな小さなお手伝いでも、一
 つやったら一つポイントカードにシールをは
 ってもらおう。シールかたまったら、③ 楽しく勉
 強できる所に連れて行ってもらおうよりにした
 り、勉強も自分から進んでするようになる。
 そしたら「勉強しなさい」と言われることも
 なくなっ、て、みんなが優しい気持ちで、楽し
 むくらせる街になると考えた。

ぼくも「ヘルプカード」がほしい時がある。
 それは難しい勉強がある時だ。ぼくたち子ど
 もも「ヘルプカード」を何枚かほしいけど、
 健康だし、天気をのぞいて、なるべく自分ででき
 ることは自分でやるようにしたい。



2



3

